

オーストラリア赴任の内示を受けて最初にしたのは、東京駅前の書店に行って豪州関連本を買いあさることだった。以前、香港や^{ロンドン}倫敦に赴任した際にもしたことだ。驚いたのは、関連本の少ないこと。国際関係・地域情勢の一角に、米、中、英、露、さらにはインドネシアやタイ関連の本はたくさんあるのに、豪州物は3冊のみ。無論、全部買って読んだ。

赴任する日本人が少ないのか？否。最新の在留邦人数を見ても、10万人近くに達し、米国、中国に次ぐ世界第3位。近年は総じて増加傾向にあり、そのうちに在中国邦人数を抜きかねない勢いだ。

地方同士の交流を見ても、兵庫県と西オーストラリア州、神戸市とブリスベン、姫路市とアデレード等、姉妹都市提携は活発だ。首都キャンベラの相手は奈良市。日本大使公邸の近くには、「キャンベラ奈良平和公園」と呼ばれる公



南半球便り

山上 信吾

園までであり、市民の週末の憩いの場所だ。であるだけに、豪州事情を紹介した本が極めて少ないのは、意外であり残念でもある。

そこで、赴任以降、「南半球便り」と称し、豪州生活を重ねる中で自分の印象を在豪州日本大使館ホームページに載せることとした。当地の事情を日本の方々に伝えると同時に、赴任した日本人外交官の雑感を豪州の方々とは共有することにより、相互理解促進の手助けができたらとの発想である。拙文の累積は汗顔の至りで、蠅蠅の斧と自覚はしている。ただひたすら、何かせざるを得ない状況なのである。

今なお、日本経済は豪州の天然資源無くして立ちゆかない。安全保障上、米国に次いで大切な国であることは言を俟たない。人的交流も太い。知り、知られる努力を重ねたい。

(駐豪州日本大使)

随想